

週報 第3343回

会 長 川端 徹 副会長 中 透・南出 和成
幹 事 山本 博章 SAA 道正田 均

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2026年7月10日) 第3343回

■ プログラム

クラブアッセンブリー 各奉仕部門担当理事

■ 次週のプログラム

7月17日: 卓話担当 中 透 会員

■ 今後の予定

7月24日: 卓話担当 中田 広宣 会員

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それでこそロータリー

今月の歌

シャボン玉

シャボン玉飛んだ	屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで	こわれて消えた
シャボン玉消えた	飛ばずに消えた
生まれてすぐに	こわれて消えた
風 風 ふくな	シャボン玉飛ばそ

■ 先週の例会

幹事報告

山本 博章 幹事

- 本日皆様のメールボックスに、ロータリーの友7月号を入れさせていただいております。ご購入くださいますようお願い致します。
- 2026-2027年度の組織図と年間プログラムの半期分(7月~12月)を配布しておりますので、ご確認下さい。又、メールボックスに、70周年の記念誌を配らせていただいておりますが、訂正箇所がございますので、帰りに出口のテーブルに置いてお帰りいただきますようお願い致します。
- ガバナー月信7月号を、皆様の各テーブルに置かせていただいておりますので、ご一読下さい。
- 来週7月10日(金)の例会は、クラブアッセンブリーとなっております。各担当理事の方は、ご準備下さいますようお願い致します。尚、当日ゲストで、久保ガバナー補佐が来られます。アッセンブリーの講評をいただきますのでよろしくお願い致します。
- 7月16日(木)は事務局が休みとなっておりますので、ご承知おき下さい。
- 本日例会終了後、くすのきの間にて理事役員会を開催致します。理事役員の方はご参集下さいますようお願い致します。

委員会報告

○ロータリーの友7月号の読みどころの紹介。
(中田 広宣 会報・IT 委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数39名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/ 3	34名	5名	—	87.18%
6/19	33名	7名	1名	85.00%

■ メークアップ

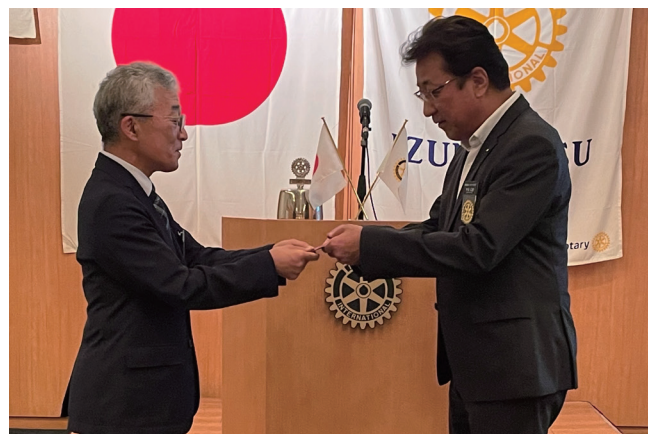
榎本(6/30 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・皆様、一年間宜しく願いいたします(川端)
- ・川端新会長、道正田SAA, 各理事、会員の皆様、一年間よろしくお願いします(山本)
- ・SAA 一年間よろしくお願いします(道正田)
- ・本年度一年間宜敷くお願いします(南出)
- ・先日の最終例会ありがとうございました。今年1年親睦活動委員会よろしくお願いします(西端)
- ・先日の最終例会ありがとうございました。今年1年会報・IT委員会よろしくお願いします。お誕生日お祝いありがとうございます(中田)
- ・川端丸 出港しました。1年間舵取りよろしくお願いします(杉本)
- ・川端会長をはじめ役員の皆様、一年間ガンバッテ下さい。宜しく申し上げます(藤野)
- ・欠席のお詫び(櫻井)

ニコニコ箱合計	16,000円
累計	16,000円

■ 祝 誕生日



中田 広宣 会員(8日)



川端 徹 会長

本年度、国際ロータリー会長 オラインカ・ハキーム・ババロア氏のキーメッセージは、「持続可能なインパクトを生み出そう(Create Lasting Impact)」です。

泉大津ロータリークラブ70周年記念式典の成功に感謝しつつ、71年目の新たな歩みをスタートさせます。

本日は、「地域に持続可能なインパクトを残すために」をテーマに、私が学んだ仲間づくりとロータリーについてお話しさせていただきます。

先週6月27日(土)、シーパsparkで第4回だんじりフェスタを開催いたしました。2つの台風が「藤原効果」とも言われる進路をとる中、悪天候下で開催判断を迫られましたが、メインイベントの一つである認知症サポーター養成講座は中止となったものの、運営を工夫して規模を縮小し、午後からは天候も回復したため、無事開催することができました。

スライドは、パークセンター内ホールで開催した「だんじりタウンミーティング」(第3回までの「だんじりサミット会議」から名称変更)の様子です。

泉大津市内の各だんじり祭礼団

体の代表者に加え、南出市長、朝比奈市議会議員をパネリストとしてお迎えし、だんじり祭りを取り巻くさまざまな課題について活発な意見交換が行われました。少子高齢化を見据えた将来への建設的な提案も多く出されました。

だんじり文化を地域のために生かし、次世代、さらには次々世代へ継承するとともに、認知症支援についても学び、伝えていくことが本イベントの趣旨です。



市とだんじり祭礼団体との包括連携協定という提案もあり、傍聴者を含め、大変充実した1時間となりました。

私は何を目指してきたのか

私は18年前に医院を開業して以来、医師として「地域医療」「在宅医療」「認知症支援活動」「医師会活動」に携わる中で、「病気だけを診ていても地域は変わらない」と考えるようになりました。

それはまさに、ロータリーでいう職業奉仕「I Serve」の理念であり、当クラブ入会後は社会奉仕「We Serve」へとつながっていきました。今振り返ると、私が目指してきたものは、ロータリーが目指す理念と同じ方向であったことに気づきました。

だんじり認知症サポーター

2014年、初めてだんじり祭関係者に認知症サポーター養成講座を受講していただき、オレンジリング(認知症サポーター

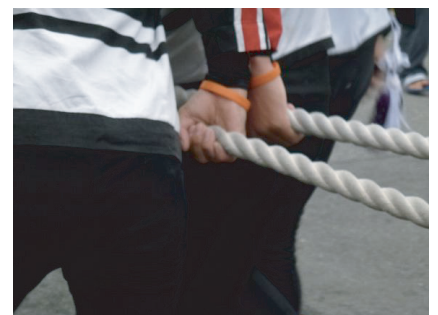
の証)を着けてだんじりを曳行していただきました。私の地域活動の原点となった一枚の写真です。

上之町青年団をはじめ約200名の祭礼関係者がオレンジリングを着けてだんじりを曳く姿は、「多くの若者

が認知症高齢者を見守り支える」という地域への力強いメッセージとなりました。

「祭りの人たちは認知症を理解してくれるだろうか」という不安から始まった活動でしたが、現在では泉大津市から泉州地域、大阪府内、さらに兵庫県芦屋市まで、2,650名を超えるだんじり関係者が認知症サポーターとして活動してくださっています。

この10年間の歩みを『だんじり認知症サポーターの軌跡』として出版し、全国へ発信しました。今後は、この書籍を啓発ツールとして全国の祭り文化へ広がっていきたいと考えています。



令和元年10月6日 上之町地車新調 (だんじり認知症サポーターと)

多くの関係者と、そのつながりの中で共感が広がった結果だと感じています。

RI会長のメッセージのように、「インパクトとは派手なことではなく、一人から始まるもの」だと思っています。より良い未来というビジョンを現実にするためには、自らが変わる勇気を持ち、その変化を地域へ広げていくことが大切です。

看護学校存続への挑戦と医師会会長選挙

泉大津市医師会附属看護学校の閉校危機に際し、当クラブ会員の皆様にも多大なるご支援、ご協力をいただきました。

クラウドファンディングでは337万円(目標額の112%)のご寄付をいただき、170名を超える温かい応援メッセージも寄せられました。さらに、2,860名の地域の皆様から署名をいただきました。

しかしながら、前医師会体制のもと、会員への書面決議により閉校が決定され、令和9年度から学生募集停止となっています。

私は、地域医療に必要な看護師を育成する准看護師養成校を、医師会の都合だけで閉校することは受け入れられません。

卒業式では、私はいつもこう申し上げています。

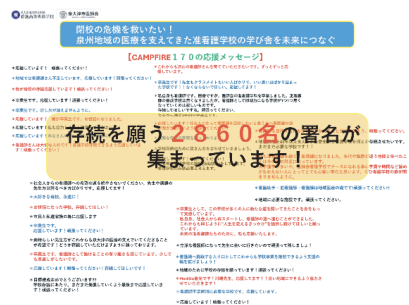
「学校は建物ではありません。学んだ人こそ学校の歴史です。」

地域の宝を守ることも、私はロータリー精神そのものだと思っています。

私は、多くの医師会員の先生方のもとへ直接伺い、看護学校の現状や財務状況、運営の実態をご説明し、ご理解とご支援をいただいた結果、このたび泉大津市医師会会長を拝命いたしました。

現在は委員会を立ち上げ、時間が限られる中ではありますが、丁寧に説明を重ねながら、多くの先生方の理解を得て、看護学校存続へ向けた方向転換を進めてまいります。

より良い未来というビジョンを現実にするには、**自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。**



FMいずみおおつでオリジナル番組を

当クラブがFMいずみおおつで番組を持つことには、

①ロータリーの公共イメージ向上 ②奉仕活動の紹介・発信 ③会員増強への広報 ④青少年活動の応援・紹介 ⑤番組へゲスト出演一地域で活躍される方々との新たなつながりづくりなど、多くのメリットがあります。

社会奉仕、青少年、RYLA、会報・IT、会員増強など、ほぼすべての委員会活動とも連携できます。

まずはご賛同いただける会員有志で「FMいずみおおつ同好会」としてスタートできればと考えております。今後、理事会でも協議させていただきます。

世阿弥の言葉

ある小説『江戸酒おとこ』(吉村喜彦著)の中で、室町時代の能楽師・世阿弥の言葉が紹介されていました。『初心忘るべからず』の「初」という字は、「衣」を「刀」で裁つと書きます。

初心とは真剣の緊張。真っ新たな布に初めて刃を入れること。折に触れて今の自分を断ち切り、新しい自分を生み出さなければならないという意味だそうです。

そして、人の心を動かすものは、「新しきこと、珍しきこと、面白きこと」であるとも記されています。

結びに

ロータリーには120年近い歴史があります。その長い歴史は、一人の偉大な人物が築いたものではありません。

毎年、一人ひとりの会長、一人ひとりの会員が、小さな奉仕を積み重ねてきた結果です。

私たちの一年も、未来の誰かにつながる一年になります。

今年一年、皆様とともに、泉大津ロータリークラブらしい「持続可能なインパクト」を地域に残していきたいと思ひます。

どうぞ一年間、よろしくお願いいたします。

